

2025
11/14
第173号

議会だより ひた

最盛期の稲刈り風景

おもな
内容

第9回定例会（令和7年9月）など
村政を問う（一般質問） p5～p9

令和6年度決算を認定



小野寺光男 委員長

9月定例会では、令和6年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算、公営企業会計決算認定について、議長を除く議員8名で構成された決算特別委員会（小野寺光男委員長）において9月16・17日の2日間にわたり審査を行いました。

審査の結果、いずれも認定すべきものとして、9月19日の定例会本会議で報告しました。

決算特別委員会の審査内容の一部から ～ 一般会計 ～

問 「地域活性化アイデア実現補助金」の詳細は。

答 令和6年度に創設した事業で、4団体に交付した。
主な内容は以下のとおり。

- ・愛知県の音楽グループによる村内福祉事業所や飲食店での演奏活動
- ・首都圏の大学生の村内での各種活動（野田まつり、野田中学校での英語授業など）
- ・野田はまなす会と準村民制度登録者（心はいつものだ村民）の交流会
- ・作曲家と野田中学校吹奏楽部の交流によるオリジナル楽曲制作

問 「旧横合小学校跡地測量調査等業務委託料」の内容と現状は。

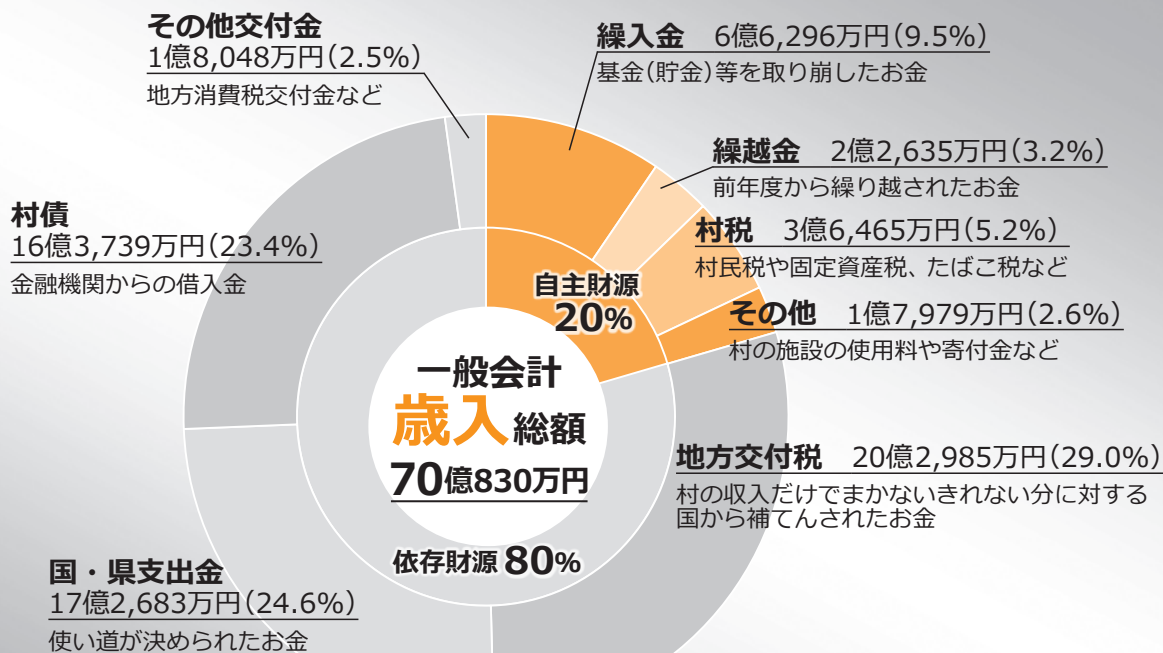
答 旧横合小学校の用地を有効活用するため、令和6年度は土地の筆界確認等を実施した。活用方法として、住宅建築の提案やキャンプ場など、いろんな意見があり全庁的に検討していきたい。

令和6年度の決算状況

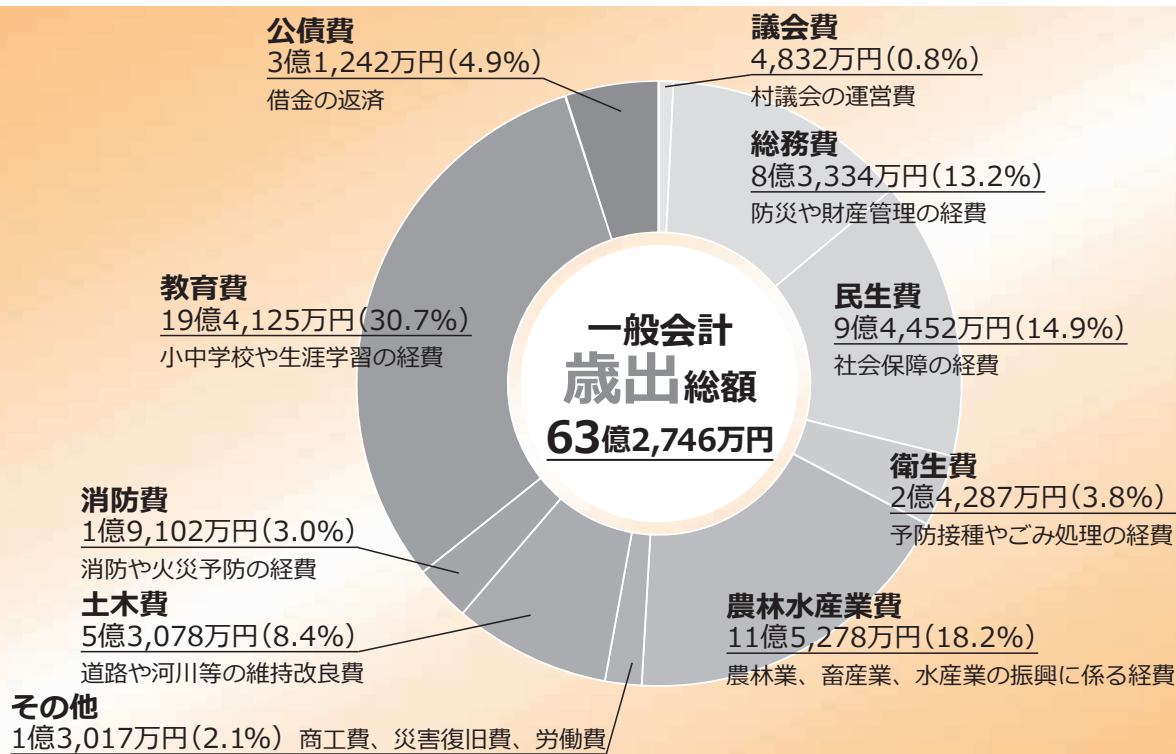
各 会 計	決 算 額		収入未済額 (税金の滞納など)
	歳入（収入）	歳出（支出）	
一 般 会 計	70億 830万円	63億 2,746万円	4,306万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	5億 1,068万円	4億 9,981万円
	後期高齢者医療	5,351万円	5,324万円
	国民宿舎事業	4,936万円	4,896万円
合 計	76億 2,185万円	69億 2,947万円	4,773万円
公営企業会計	決 算 額		未収金
	収益的収入	収益的支出	
簡 易 水 道 事 業	1億 5,414万円	1億 4,421万円	852万円
下 水 道 事 業	2億 8,465万円	2億 6,803万円	652万円

※金額は端数処理しています

歳入



歳出



監査委員報告



中村 司
代表監査委員



小野 寺 豊
監査委員

9月10日の本会議で代表監査委員から、令和6年度各会計の決算について審査結果の報告がありました。

その結果、各会計決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は証拠書類と合致しているものと認められました。また、各会計の予算執行及び関連する事務処理については、おおむね適正であると認められました。

【用語解説】

○自主財源…村民税や村の施設の利用料など、村が自主的に収入することができるお金のこと。
○依存財源…国や県からもらう国・県支出金や交付金、村債などのこと。
○地方交付税…全国どこに住んでいても、一定水準のサービスを受けられるよう国から配分されるお金のこと。
○村債…村の借入金をいい、収入の一種であるが、将来償還しなければならないお金のこと。

常任委員会 紹介

各常任委員会のメンバー
が代わりましたので紹介
します。



広報広聴常任委員会

委員長 丹野和子、副委員長 米田徳一郎、山田陽子
委員 小野寺光男、中川大和、中川昇、小野寺豊、前川安男



総務教民常任委員会

委員長 小野寺光男、副委員長 小野寺豊
委員 米田徳一郎、丹野和子



産業常任委員会

委員長 中川昇、副委員長 前川安男
委員 山田陽子、中川大和

広報分科会

委員長 丹野和子、副委員長 米田徳一郎
委員 小野寺光男、小野寺豊

広聴分科会

委員長 山田陽子、副委員長 中川大和
委員 中川昇、前川安男

●●● 請願 ●●●

9月定例会で請願2件を審議しました。

受理番号	請願第6号	請願第7号
件名	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・教育予算の拡充をはかるための2026年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願について	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願について
請願者	岩手県教職員組合県北支部 支部長 小関 高博	岩手県教職員組合県北支部 支部長 小関 高博
紹介議員	山田 陽子、丹野 和子	山田 陽子、丹野 和子
付託先	総務教民常任委員会	
審査結果	採択 ➡ 国へ意見書提出	

7月臨時会

第9回野田村議会臨時会が
7月15日に開催され、一般会
計補正予算など議案2件につ
いて審議し可決されました。

○おもな事業

▼交通指導員制服購入費

交通指導員1名分の制服
一式の購入。

▼エアコン設置支援事業補助金

物価高騰などで、特に低
所得世帯の生活負担が増加
している現状を踏まえ、エ
アコン1台の購入及び設置
に要する費用の一部を助成
する（対象要件あり）。

▼道の駅起点まち歩きマップ 作成事業

移転した「道の駅のだ」
を起点とした、まち歩き
マップを作成。村内への誘
客を図る。

○条例

▼野田村立小中学校設置条例 の一部を改正する条例

小学校の移転新築に伴う、
小学校の位置の変更。

村政を問う

議員 **4** 人が登壇

- 一般質問は、村の行財政全般に関し、原則定例会で村の将来への方針や目標、地域や住民生活がよりいっそう豊かになるための課題などを質問できます。
- 質問時間は、1人60分までで、1つに3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	質 問 事 項	掲 載 ページ
たんのかずこ 丹 野 和 子	1 カムチャツカ地震に伴う津波避難について 2 貸与タブレットの使用状況について 3 令和7年度住民懇談会について	6
やまのだようこ 山 田 陽 子	1 令和7年度住民懇談会について 2 防災対策について 3 十府ヶ浦公園の環境整備について 4 村道城内二又線について 5 交流物産等複合施設について 6 中学校の部活動について	7
なかがわのぼる 中 川 昇	1 インターチェンジの整備について 2 クマ等「緊急銃猟」への対応について 3 窓口への軟骨伝導イヤホン設置について 4 ナラ枯れ対策について	8
まいたとくいちろう 米 田 徳一郎	1 限界集落の現状と課題、対策について 2 一次産業の推進と食の安全安心の確保について 3 旧道の駅及び小学校校舎等の利用計画について 4 ナラ枯れ対策の現状と課題、対策について	9

避難・避難所運営に住民参加を



丹野 和子 議員

村長 防災意識の向上に努める

問 カムチャツカ半島地震により津波警報が出されたが、避難状況は。

村長 今回の津波警報で利用された指定緊急避難場所は大慈翔北高校野田校舎、愛宕山、南浜コミュニティセンターの3か所で、最も避難者が多かったのは大慈翔北高校野田校舎であった。また、指定避難所への避難者は100人で、避難所は午後9時で閉鎖となった。

問 自動車による避難者は。また、自動車避難による問題はあったか。

村長 避難指示発令後の避難者は190人であり、そのほとんどが自動車で避難したものととらえている。今回、自動車避難にあたっての問題点は出ていない。

問 避難先、避難所で暑さ対策として冷房・飲料水の準備、食料の提供はできたか。また、情報はどう発信したか。

村長 避難場所、指定避難所へは、昼と夜の食糧及び飲料水を配布した。小・中学校の指定避難所では、エアコンのある教室等を開放してもらい対応した。情報伝達は、津波警報や津波注意報が発表中であることの注意喚起や津波到達予想時刻等を防災無線や公式LINE、エリアメール等で周知した。今後も情報発信に努めるが、ラジオ等の備蓄も検討したい。

問 村民も地区の避難行動、避難所運営に関われるようにすべきでないか。

村長 自主防災組織等を中心とした住民による自助・共助は必要と

認識しており、引き続き自主防災組織や町内会と連携し、防災意識の向上に努めたい。

貸与タブレット使用状況は

問 貸与タブレットの使用状況を調査してはどうか。その調査結果により講習会を開くなど、今後の方向を考えたはどうか。また、タブレットの導入費やランニングコストは導入前後と比べ、費用の差はあるか。

村長 現時点で使用状況に関する調査や講習会を実施する予定はないが、必要に応じ検討していく。また、費用は、契約手続きの過程で導入前の金額より減額になっている。

問 令和7年度住民懇談会
住民懇談会を6月から8月にかけて

村内17か所で開催し、208人の参加者があったようだが、村長はこの懇談会の成果と今後村政に生かす方策をどう考えているか。また、要望には村内で共通する内容も多かったが、これを広く村民に知らせ、検討、対応が必要である。どう考えるか。

村長 今回、住民懇談会を全地区で開催したことで、住民の皆さんから様々な意見や要望を直接聞くことができたとともに、村からの行政情報も提供できた良い機会であった。いただいた多くの要望は、財源確保なども含め庁内で検討し、現在、策定作業を進めている村総合計画と令和8年度以降の施策に反映できるか検討を進めていく。また、村民からの要望は、村ホームページ等を通じてお知らせしたい。



山田 陽子 議員

住民懇談会

初住民懇談会、村長の見解は

村長 全地区開催で多くの要望あり

問

住民懇談会の村長の見解は。

村長

今回、全地区で開催したことで、住民の意見や要望を直接聞くことができ、行政情報の提供もできた良い機会になった。多くの要望は、村総合計画や令和8年度から実施できるものなど検討していく。

問

様々な影響で、各地区とも公民館の維持管理が厳しい状況だが、公民館維持費の課題解決は。

村長

公民館等の維持も含めた地区の活動を促進できる仕組み作りを検討していく。

防災対策

支える仕組みを

問

住民懇談会の中で、災害時の避難施設等に関し、村職員数に限りがあり対応困難との回答があった。そこで住民と連携した組織づくりの考えは。

村長

引き続き、自主防災組織や町内会と

連携し、防災訓練などを通じて意識の向上に努めていく。

問

防災士の資格取得への対応は。

村長

職員8名が防災士の資格を取得している。

問

暑い時期の課題は。

村長

飲料水等の確保や停電を想定した、電気を使わずに体を涼しく保つなどの熱中症対策が課題と考える。

問

今回の津波避難で、設置教室の開放は、避難した時点で対応すべきだったのでは。

村長

指定避難所である中学校は武道場を避難場所としている。今回は久慈翔北高校野田校舎から避難者移動の必要が生じたことで、教室を開放してもらった。暑い時期の避難について、対応を検討していく。

パークゴルフ場 村外利用者へ配慮を

問

パークゴルフ場の休憩施設にエアコン設置を。また、村外利用者も多く、天候等の情報対応にQRコードの活用のか考えは。

村長

この情報提供は、運営しているパークゴルフ協会へ伝える。

再質問

「委託契約書」第6条に「施設の修繕、維持管理は発注者が行い、これに係る経費について発注者の負担とする」とある。ここにエアコン設置は該当すると考えるが。

村長

委託契約の内容は、あくまでも現状の施設での維持管理、修繕等であり、委託先からほかに要望があれば、協議して対応していく。

村道城内二又線 歩道のない道路の安全策

問

「あづび」の施設の角から法理橋付近までの道路は、通学路だが歩道がないため、危険を回避する対応策を。



門前小路「あづび」付近

村長

歩行者用の路側帯の設置を検討し、安全対策に努める。

道の駅の状況は

問

道の駅のだ「ばあぷる」は、6月のオープンから3か月が経過した。これまでの成果は。

村長

前年同期と比較し、レジ通過者数は158%、売り上げは180%で、順調な施設運営ができています。

部活動の地域展開は

問

中学校の部活動の地域展開の進捗状況は。

教育長

国が示す地域展開を実現するには課題も多く、今年度中に「地域スポーツ・文化活動検討協議会」を立ち上げ、検討を進めていく。

「緊急銃猟」への対応は

村長 他事例を参考に体制整備



中川 昇 議員

問

クマなどが市街地に現れた際の猟銃使用を可能とする改正鳥獣保護管理法が本年9月から施行される。市街地にクマが出没し、銃猟以外での確かつ迅速な捕獲が困難などと市町村が判断した場合、猟銃使用が可能となる。安全の確保、銃使用の条件確認、ハンターの確保など課題が多いが、どう体制を整備し対応するのか。

村長

本年9月から改正鳥獣保護管理法の施行により、多発している市街地に出没し被害を及ぼす個体に対応できる選択肢が増えた。しかし、発動までに多くの手順が必要で、実際、捕獲できるには限定的となる可能性も指摘される。人の日常生活圏へ侵入するため、他市町村の事例を参考に体制を整備したい。

問

ナラ枯れ対策は

県内では平成22年に奥州市で被害が確認されてから、懸命に

防除してきたが被害は拡大している。特に沿岸部で被害が急速で洋野町まで広がっている。本村は令和3年度に被害が発生し拡大している。ナラ枯れの防除対策に伐倒くん

蒸による駆除、殺菌剤の樹幹注入による予防対策等が取られているが、被害を受けやすい高齢木等の伐採による山林の若返りも必要である。本村の被害状況と今後どう防除対策するか。

村長

村では県と連携したパトロールのほか、通報等により被害木を確認し、県の「ナラ枯れ被害材等の移動に関するガイドライン」により、春と秋に駆除してきた。いつぼうで、健全そうに見えるても病害虫が侵入している木もあり、本県沿岸部を含む広範囲に拡大しており、被害の全容把握できていない現状である。県をはじめ、関係機関と連携しながら、現状に応じたナラ枯れ対策に取り組んでいきたい。

インターチェンジの整備を

問

道路網の整備は、沿岸と内陸を結ぶ高規格道路の実現と、道の駅と三陸沿岸道路を連結するためのインターチェンジの整備計画など、県内において要望が活発化している。特に三陸沿岸道路の開通により、人や物の移動が多くなり観光振興につながる誘客の促進、医療機関へのアクセス向上、災害時の代替路線等として、地域に多様な効果をもたらす。「玉川地区」へのインターチェンジの早期整備に向けて、国へ要望活動を一段と強化すべきだが、どう考えるか。

村長

国土交通大臣をはじめ、県選出国会議員、東北地方整備局長などに継続して要望書を提出している。要望強化のため本年度の委託事業で、必要性の検討調査、要望資料の作成等を進めており、三陸国道事務所と調整しながら実現に向けて活動を強化していく。

窓口へ

軟骨伝導イヤホン設置を

問

住民が窓口でスムーズに事務手続きできることは、住民サービスの向上に向けて極めて大切である。この機器は、耳の入口付近の軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、「聞こえにくい人」が利用すること、はつきり聞き取ることができるとの利点がある。窓口の利便性の向上につながるが、どう考えるか。

村長

窓口への軟骨伝導イヤホンの設置は、加齢などにより、聞こえにくい方や聞こえに不安を感じている方が窓口で説明を聞くことができて、住民サービスの向上やストレスなく相談することの有効と考える。今後、設置を検討したい。



インターチェンジ整備を！



米田 徳一郎 議員

人口減少、人口流出

「住みよい村づくり」を

村長 課題対応に取り組む

問

少子高齢化に伴う人口減少、都市部への人口流出などで地方が衰退している中、「住みよい村づくり」の取り組みとして、限界集落になりつつある集落数と対策、支援は。



集落支援員制度の活用で集落支援を

村長

限界集落の定義は「過疎化などで人口の50%が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落」とされている。当村では、令和7年8月末時点で人口の50%が65歳以上の行政区は6地区。また、集落支援については、総務省が創設した集落支援員制度は活用しておらず、

支援員は配置していない。地域の活性化は、村政の重要な課題として位置付けており、地域住民と対話を重ね、集落支援員制度を含め、各種制度や施策について、引き続き課題対応に取り組みたい。

一次産業の推進と食の安全安心の確保は

問

日本人の主食である米の価格が高騰し「令和の米騒動」と言われ、今なお続いているが「村民の食の安全安心の確保」に関し、村内のコメの需要と供給状況、取引価格の推移、今後の見通し、生産者、消費者に対する支援は。

村長

食の安定供給は国が責任をもっており、村としても、国・県等と連携しながら安定供給に引き続き取り組んでいく。取引価格は、農林水産省によると令和6年産米の相対取引価格は60kgあたり2万6918円で、当面はこの水準で推移すると見込んでいる。生産者に対する支援は、国・県の動向を注視し、既存制度の活用を図っていく。

また、消費者支援も、国・県の価格高騰への支援策を情報収集し、財源の確保も含め、適切に対応したい。

問

飼料用米等との価格差の補てんや飯米作付けの見直し、休耕田の再利用に対する支援は。

村長

令和7年度主食用米の生産者概算金は30kgあたり1万2900円、飼料用米は令和6年度30kgあたり9000円程度と聞いている。単価に大きな差があるものの、国では収量に応じて上乗せをするなど、飼料用米作付けに対しても経営安定策を講じており、単価格差に対して一定の支援が含まれているととらえている。生産者の実情・意向等をふまえ、関係機関と連携し、必要に応じて応じたい。また、休耕田の再利用は、ほ場の状況や利用方法に合わせ、国や県の補助事業の活用など、案件ごとに適切に対応したい。

問

経営基盤の育成と集積拡大、農業機械購入に対する支援、担

い手確保と新規就農者支援は。

村長

本村でも、生産者不足が生じており、担い手の育成や新規就農しやすい環境整備が必要と認識している。これまで、担い手確保のため新規就農者の活動や資機材導入への支援のため、農地の集積・集約化を図る機構集積協力金の活用や、農作業の効率化・省力化を図るため地域計画を作成するなど営農を支援してきた。このほか、国の新規就農者育成総合対策事業や地域おこし協力隊制度を活用した担い手確保に取り組んだ結果、新たな就農者も現れ、徐々に取り組みの成果が出ている。引き続き、関係機関と連携し農業振興に取り組みたい。

【その他質問事項】

○三陸鉄道陸中野田駅の駅機能

○「旧道の駅のだ」及び「さわやかトイレ」「産直施設」などの利用計画

○旧野田小学校校舎、土地の利用計画

○ナラ枯れ対策の現状と課題、対策

議案一覧

第9回臨時会 7月15日

番 号	議案名・議案内容	議決結果
議案第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第2号）	可決 (賛成全員)
議案第2号	野田村立小中学校設置条例の一部を改正する条例	

第9回定例会 9月10～19日

番 号	議案名・議案内容	議決結果
報告第1号	株式会社のだむらの経営状況に関する書類の提出について	—
報告第2号	株式会社涼海の丘の経営状況に関する書類の提出について	
報告第3号	令和6年度決算に基づく野田村健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
承認第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第3号）の専決処分に関し承認を求めることについて	承認 (賛成全員)
認定第1号 ～第4号	令和6年度野田村一般会計・各特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成全員)
認定第5号 ～第6号	令和6年度野田村公営企業会計決算認定について	
議案第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第4号）	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和7年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第3号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意 (賛成全員)
発議案 第1号	ゆたかな学びの実現、教職員定数改善と教育予算の拡充に係る意見書の提出について	可決 (賛成全員)
発議案 第2号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について	

※議長は採決に加わらない

議会傍聴できます！

村議会定例会は、3月（予算）・6月・9月（決算）・12月に開かれます。

村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。

傍聴は、受付簿に氏名・年齢などを記入するだけです。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

次の定例会は 12月です！

おもな議会の動き

● 7 月 ●

- 7 日 野田村体育協会評議員会
- 8～9 日 岩手県町村議会議長会政務調査会研修会（雫石町）
- 10日 久慈地区市町村議会連絡協議会総会（久慈市）
- 11日 三陸地区国道協議会並びに三陸沿岸道路整備促進期成同盟会合同総会（宮古市）
- 15日 第9回野田村議会臨時会
- 15日 村政調査会
- 22日 国道281号整備促進期成同盟会総会・要望会（盛岡市）
- 24日 北部地区町村議会議長会議員研修会・情報交換会（軽米町）
- 25日 野田小学校 旧校舎「校舎への感謝の会」

● 8 月 ●

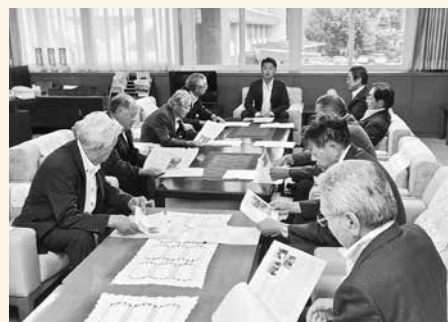
- 5 日 野田小学校 新校舎竣工式・祝賀会
- 6 日 県政要望活動（盛岡市）
- 6 日 町村議会夏季議員研修会（盛岡市）
- 15日 野田村戦没者慰霊祭
- 15日 村政調査会
- 18日 漁港検診（下安家漁港）
- 21～22日 三県合同研修会・国会議員懇談会（東京都）
- 22～24日 野田まつり
- 25日 市町村要望（久慈市）
- 28日 知事を囲む懇談会（盛岡市）
- 29日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会要望活動（宮古市、盛岡市）
- 29日 野田小学校 新校舎開校式



7/24 北部地区町村議会議長会議員研修会

● 9 月 ●

- 5 日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 10～19日 第9回野田村議会定例会
- 17日 野田村敬老会
- 26日 シルバースポーツ大会
- 30日～10月3日 北部地区町村議会議長会行政視察研修（大阪府、兵庫県）など



8/6 県政要望活動



8/18 漁港検診（下安家漁港）



9/26 シルバースポーツ大会



8/29 野田小学校 新校舎開校式

がんばる 地産地消

快晴の9月27日、稲刈り真っ最中の明内伸一さん(54)を訪ね、お話を伺いました。JA勤務時代も、農業の手伝いをしていましたが、父親の高齢もあり、退職して本格的に取り組むようになって7年目になります。

現在は稲作を中心に、花き(リンドウ、スプレー菊、小菊、ストック)、キュウリ、寒じめほうれんそうなどを栽培しています。作ったお米「いわてっこ」、「ひとめぼれ」は、道の駅のだ「ぱあぷる」にも出荷しているとのことでした。



農業 明内伸一さん(下明内)

今後の希望

農業に興味を持つ若者が増えること。

行政への要望

農業を続けられるような、さまざまな支援。

議会だよりクイズ

問題

広報分科会は何人でしょう。

- ① 2人
- ② 4人
- ③ 8人



◀こちらからも応募できます！
村ホームページ「議会だより のだ」につながります。
スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ②7

【当選者】 野崎真美子さん、澤口恵達さん、島川大毅さん

正解者から抽選で3名に
「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】 村ホームページ「議会だより のだ」応募フォームやはがきに答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしています。

【応募先】 〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14、野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで。

【締め切り】 1月8日消印有効

【当選発表】 次号発表

あとながき

このたび委員会の構成が代わり、後記の4名が議会だよりの編集委員になりました。よろしくお願ひします。

新たに、農業、漁業など村内の産業を担う方々も紹介していきたいと思っております。

また、過日の住民懇談会の中で、議会だよりへの要望もありました。興味をもって読んで下さりありがとうございます。今後、いろいろな声をお寄せください。

丹野和子

発行責任者

議長 米田 忠一

広報広聴常任委員会 広報分科会

委員長 丹野 和子

副委員長 米田 徳一郎

委員 小野寺 光男

委員 小野寺 豊